

こうとう民報

2013年10月号 108

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行
こうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

6年ぶりの賃上げめざし

9・24非正規労働者大集会



均等待遇実現めざし、臨時・非常勤・民営化職場職員の労組「公共一般江東支部」の集会が開催され、86名が参加しました。

集会には各職場から「働いても働いても、全然給料が上がらないのはひどい」と、6年ぶりの賃上げを求める切実な声が上がりました。

去る参院選では、全政党が「同一労働同一賃金」を打ち出しました。

私たち労働組合の主張とは隔たりもありますが、安倍政権はアベノミクスの一環として「賃上げ」を打ち出しています。

「官製ワーキングプア」の解消めざし、賃上げ、一時金、昇給制度、退職金、超過勤務手当の実績保障の5大経済要求実現のチャンスです。

共産党からは、そえや議員、赤羽目議員らが参加しました。

(寄稿)



新たに選出された新執行部のみなさん

地域労組こうとう第5回定期大会

一年で新組合員が50名加盟

9月21日、全労連地域労働組合こうとうは、第5回定期大会を開催。この一年間で組合員50余名が新たに加盟し、164名の組合に発展し第5回定期大会を迎えました。

組合員が仲間増やし

4つの職場に複数の組合員で構成する分会が確立されました。

組合員が仲間を増やしているということがこの一年間の特徴と報告されました。

相談活動が力に

また、「雇い止め」「賃金未払い」「セクハラ・パワハラ」「休日出勤手当未払い」「業務関連の疾病発症保障」「労働契約変更」「懲戒解雇」など多岐にわたる

の相談活動に取り組みました。

した。

今年解決したなかで、会社の不当性を糾弾したピラを最寄りの東京テレビポート駅で配布したところ、業務発注もとの23区の一部事務組合の目にとまり、社長が呼び出されて指導され、都労委で和解しました。

労働者の要求を守る上で労働組合の必要性と役割が発揮されました。

新しい役員は、執行委員長に小倉一男氏、書記長に川村好正氏など役員を選出しました。

区民には負担強化、施策の切捨て

一方、区は文化センター・スポーツセンターなど使用

9月26日から始まった江東区議会第3回定例会には、平成24年度の江東区会計決算が報告されました。

区の昨年度決算は

大幅黒字

区の24年度決算は、51億円余の大幅黒字です。

「貯金」といわれる「基金」も、予算編成時には1

江東区決算は大幅黒字

区民の生活支援を

います。これによって「基金」の総額は830億円余、過去5年間で2番目に高い額となりました。

料を一律20%も値上げしたほか、ひとり親家庭休養ホーム事業の廃止、ひとり親家庭へのホームヘルパー派遣事業の新規登録受付中止

区民生活守る仕事を

減しています。

この決算に対し共産党区議団は、財政は黒字で基金の積み増しを行っており、区民への負担増、施策の切捨て、職員削減は行う必要

はなかったと指摘し、区民生活の実態から必要な事業を積極的に進めるべきであったとして、次のような具体的な提案を行いました。

施設建設では、特別養護老人ホームや認可保育園など不足が深刻な施設の増設、区民生活の支援として、高齢者の入院助成や重度要介護者への手当支給、住宅リフォーム助成で仕事おこし、青年就労相談窓口の設置や学校の就学援助の拡充などを求めました。

潮騒

伊豆大島の甚大な災害の元凶は異常気象。奇跡の星・地球に生きるものにとって、温暖化対策は切実になっていく。EU諸国は京都議定書の目標を超過達成する見通しですが、日本はこの10年間で2%を削減どころか、3・7%も増やし、その上に原発事故で放射能汚染水の垂れ流しです。13日、国会議事堂や日比谷公園一帯の「ノーニユクステイ」4万人集会で、終日、命を犠牲にする利益追求のための原発再稼働阻止を訴える行動が展開されました。資本に支配された科学・技術が、これ以上地球環境を破壊していくことを許さない社会的規制こそが緊急の課題です。この人類的課題に背を向けている安倍政権は、15日からの国会において「国会安全保障会議設置法」と一体に「特定秘密保護法」の成立を狙っています。私たちは近年、「核密約」の存在に愕然としました。今進行中のTPP交渉内容も4年間秘匿されます。「国民の知る権利」を奪われたら民主主義は根底から否定されてしまいます。「九条の会」は緊急アピールを発表しました。「戦前、日本国民はすべての抵抗手段を奪われ、ズルズルと侵略戦争の泥沼に巻き込まれていった苦い経験」を繰り返さないために、主権者として「戦争する国」への暴走を阻止するための行動に立ち上がる」と呼びかけています。

「綱吉・白石
・吉宗と江東」

歌川広重「みつまたわかれ淵」



概説

江東の歴史

(26)

5代將軍綱吉は、江東区開発第三期、元禄を中心とした時期に江東とかわかっています。將軍となって5年目、富岡八幡で勸進相撲が始まりました。1698年、永代橋がかけられましたが、この橋の名は永代島からとも、架橋の日が綱吉50歳の祝賀日だったからともいわれています。北砂2丁目の志演神社の名も、社伝によれば綱吉が鷹狩りに来たときの言葉からといわれます。英一蝶が三宅島に流罪とされたのは、綱吉を諷刺(彼の絵が綱吉の側室お伝の方に似ていた)したのでとみられたからです。

6代家宣と7代家継に仕え、幕府の政治をおこなった新井白石は、家継の死後に引退すると、1717(享保2)年に神田一橋門外の屋敷を召しあげられたために、深川一色町(福住1丁目)に短い間仮住いしました。彼は「読史余論」「西洋紀聞」をあらわした偉大な学者でした。

8代將軍吉宗も、鷹狩りなどでしばしば江東に足をはこびました。当時、江東には自然の驚がたくさんいました。一茶は1804(享和4)年の句集に「驚、砂村より川舟にて貢す」と書き、広重は「州崎十万坪」で高く飛ぶ大鷲を描いています。1724(享保9)年、吉宗は亀戸の梅屋敷(香取神社の西方)の臥竜梅を見にきています。枝が垂れさがって地中に埋まり、また地表に出ている竜の臥している姿を、徳川光圀が名づけました。1727(享保12)年には、琉球からとりよせた砂糖黍を砂村に栽培させます。この地は後に日本精製糖発祥の碑(北砂5丁目公園内)がたてられた所です。1738(天文3)年、亀高村名主の治郎兵衛宅の屏風に感心した話がありましたが、吉宗が熱病にかかったとき、亀高村から季節はずれの西瓜が献上されました。また、門前仲町に花街がつくられたのは、吉宗の享保の時代、江東区開発の第四期です。

消費税増税中止で共同の呼びかけ



消費税増税ストップを求める
あぜ上都議とすがや区議



区内8箇所で
署名活動

9月22・23日の連休に、あぜ上三和子事務所・共産党区議団・地区委員会は、区内の主要なスーパーや商店街の8箇所で、来年4月からの消費税3%増税を中止させるために、宣伝・署名活動を展開しました。

「もう決まっているのでは」「などマスコミ報道に戸惑う声もあがるなかで、あぜ上都議や各区議などがマイクをにぎり「社会保障を充実させるため、財政赤字を次の世代に残さないためという増税根拠は崩れました。増税のうち2%分の5兆円は経済対策として、法人税減税や大手ゼネコンのバラマキに使われてしまします。国民の共同の力で増税を中止させましょう」と力強く訴えました。

2日間の行動には105人が参加し、410筆の署名が寄せられました。

10月2日の第一次国会への署名提出日には、この間に党支部が集めた分と合わせて2496筆の署名を、笠井・田村・吉良議員を通して提出。23日には第二次要請行動が行なわれ、引き続き、対話・宣伝行動による世論の結集をすすめています。

第一部では、扇橋診療所の職員・皆川孝正さんの原水禁世界大会参加者報告、第二部では「はだしのゲン」の鑑賞、第三部は、「東北の食べ物とお酒で被災者復興支援交流会」を行いました。

皆川さんは、「被爆者認定



10月5日江東区産業会館で、江東健康友の会主催の第6回「戦争体験を語り継ぐ」が行われ、38人が参加しました。

伝行動による世論の結集をすすめています。

訴訟裁判の原動力になったのは「怒り」、被爆者の求めたものは「正義」だった」と被爆者認定勝利の原動力を紹介しました。

第二部の映画鑑賞では、松江市教育委員会が漫画「はだしのゲン」に閲覧制限をかけていたことに触れ「この『はだしのゲン』のどこがいけないのか」「ぜひ続編も見たい」などの声があがりました。第三部での交流会会費から被災者に義捐金が送られます。

10月12日、『江東革新懇30周年記念祝賀会』がティアラことうで開かれました。堀喜美代さんの独唱ではじまった祝賀会。

江東革新懇
30周年記念祝賀会

戦後最大の憲法の危機！
一丸となって悪政にストップを！

江東革新懇代表世話人の後藤寛さんは「いま戦後最大の憲法の危機といわれています。当初狙っていた改憲手続きを緩和する96条の改悪は世論の反対を受け、しぼんできたが、集団的自衛権の行使や『国家安全保障会議』『秘密保護法案』など実際に法律をつくり、憲法を骨抜きにしようとしています。悪法でんこもりの状況ではあるが、都議選、参議院選での日本共産党躍進の明るいニュースも生まれています。一丸となって悪政にストップをかけていきましょう」と呼びかけました。

第二部では、いろそら合唱団による「イムジンガ」などの合唱がありました。

行事予定

- 11月3日(日)
『なんでも相談会』13時、江東区文化センター
- 11月10日(日)
『第19回健康まつり』10時、森下文化センター、江東健康友の会・深川支部
- 11月23日(土・祝)
『江東区高齢者大会』10時、総合市民センター
- 11月24日(日)
『江東・生活と健康を守る会定期大会』10時、総合市民センター(7階・会議室)